

お知らせ

記者発表資料 配布日時	令和 2 年 12 月 9 日 14:00
----------------	--------------------------

■同時発表先：合同庁舎記者クラブ、島根県政記者会、広島県政記者クラブ、中国地方建設記者クラブ、出雲市政記者クラブ

「第30回・第31回 中国地方ダム等管理フォローアップ委員会」の開催について

中国地方整備局では、直轄管理ダム等の管理段階における運用状況や、環境への影響等について分析・評価を行い、適切な管理に資することを目的として、学識経験者による「中国地方ダム等管理フォローアップ委員会」を下記により開催いたします。

記

第30回

- 日時：令和2年12月16日（水） 13:00～17:10（予定）
- 会場：中国地方整備局 建政部 3階会議室
広島市中区八丁堀 2-15（別図 会場位置図参照）
- 主な議事：1）尾原ダム定期報告書（案）の審議
2）志津見ダム定期報告書（案）の審議

第31回

- 日時：令和2年12月23日（水） 13:00～17:10（予定）
- 会場：中国地方整備局 建政部 3階会議室
広島市中区八丁堀 2-15（別図 会場位置図参照）
- 主な議事：1）温井ダム定期報告書（案）の審議
2）高瀬堰定期報告書（案）の審議

○取材についてのお願い

取材については、別紙【取材について】のとおりとさせていただきます。

以上

<問い合わせ先>

国土交通省 中国地方整備局 (082) 221-9231 (代表)：(平日・昼間)

【担当】

河川部 広域水管理官	しもやま しげる 下山 茂	(内線3516)
河川管理課 課長補佐	いけだ けんじ 池田 健二	(内線3756)

【広報担当窓口】

広報広聴対策官	かとう こうじ 加藤 浩士	(内線2117)
企画部 環境調整官	ぶとう としひさ 後藤 寿久	(内線3114)

別紙【取材について】

「中国地方ダム等管理フォローアップ委員会」取材に関する 報道機関の皆様へのお願い

フォローアップ委員会では、自然環境保護の観点から、重要種の生息域など公にするには適さない情報について討議されること及び委員相互の自由闊達な意見交換を促進するため、一般の方々には、委員会傍聴をご遠慮頂くこととしております。

そのため、報道機関の皆様にも下記のとおり、取材においてご不便をおかけいたしますが、ご理解ご協力頂くようお願い申し上げます。

(取材)

- 1) 会場に入室する前に、受付において「報道関係者受付簿」に必要事項を記入して下さい。
- 2) 会場内においては次の事項を遵守して下さい。
 - ① あらかじめ用意された席で取材願います。
 - ② 委員会の円滑な運営を図るため、ビデオ、カメラ等による撮影は委員長挨拶までの間とさせていただきます。

(公開・公表)

- 3) 委員会の公開、資料の公表等の取り扱いについては、以下のとおり願います。
 - ① 委員会では、重要種の生育・生息場所が特定できるような事項について審議することが予想されますが、これらは報道内容に含まないよう配慮をお願いします。
 - ② 会議資料は配付しますが、重要種の生息場所等は非公開とします。

(感染症対策)

- 4) 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、マスクの着用、会議室入室前の検温、手指消毒等にご協力をお願いします。
なお、取材希望の方が多数の場合、入室制限をさせていただく場合がありますのであらかじめご了承ください。

【参 考】

「ダム等の管理に係るフォローアップ制度」について

1. フォローアップ制度の目的

ダム等の管理に係るフォローアップ制度（以下「フォローアップ制度」という。）は、フォローアップ制度の対象となるダム等について、フォローアップ調査及びその調査結果の分析と評価を客観的・科学的に行い、ダム等の適切な管理に資することを目的とする。

また、学識経験を有する者からなる中国地方ダム等管理フォローアップ委員会（以下「フォローアップ委員会」という。）を設置し、フォローアップ調査及びその調査結果の分析・評価にあたっては、同委員会の意見を聴く。

2. フォローアップ制度の対象ダム等

ダム等の名称	水系名	ダム等の所在地	管理開始年
すげさわ 菅沢ダム	日 野 川	鳥取県日野郡日南町	昭和43年
は じ 土師ダム	江 の 川	広島県安芸高田市	昭和49年
たか せ ぜき 高瀬堰	太 田 川	広島県広島市	昭和50年
さか ね ぜき 坂根堰	吉 井 川	岡山県備前市、岡山市	昭和55年
あしだがわかこうぜき 芦田川河口堰	芦 田 川	広島県福山市	昭和56年
しまぢがわ 島地川ダム	佐 波 川	山口県周南市	昭和57年
やさか 弥栄ダム	小 瀬 川	広島県大竹市、山口県岩国市	平成3年
はったばら 八田原ダム	芦 田 川	広島県府中市、世羅郡世羅町	平成10年
ぬくい 温井ダム	太 田 川	広島県山県郡安芸太田町	平成14年
とまた 苔田ダム	吉 井 川	岡山県苫田郡鏡野町	平成17年
はいづか 灰塚ダム	江 の 川	広島県三次市	平成19年
しつみ 志津見ダム	斐 伊 川	島根県飯石郡飯南町	平成23年
おぼら 尾原ダム	斐 伊 川	島根県雲南市	平成24年
との 殿ダム	千 代 川	鳥取県鳥取市	平成24年

3. フォローアップ委員会

(1) フォローアップ委員会の委員名簿

別表1「中国地方ダム等管理フォローアップ委員会委員」参照。

4. フォローアップ調査の内容

(1) フォローアップ調査項目

- ① 洪水調節及び利水補給の実績
- ② 堆砂状況調査
- ③ 水質調査
- ④ 生物調査
- ⑤ 水源地域動態調査

(2) 年次報告書

フォローアップ制度の対象ダム等のうち、管理を開始しているダム等については、毎年度のフォローアップ調査の結果及びその分析をとりまとめた年次報告書を作成する。

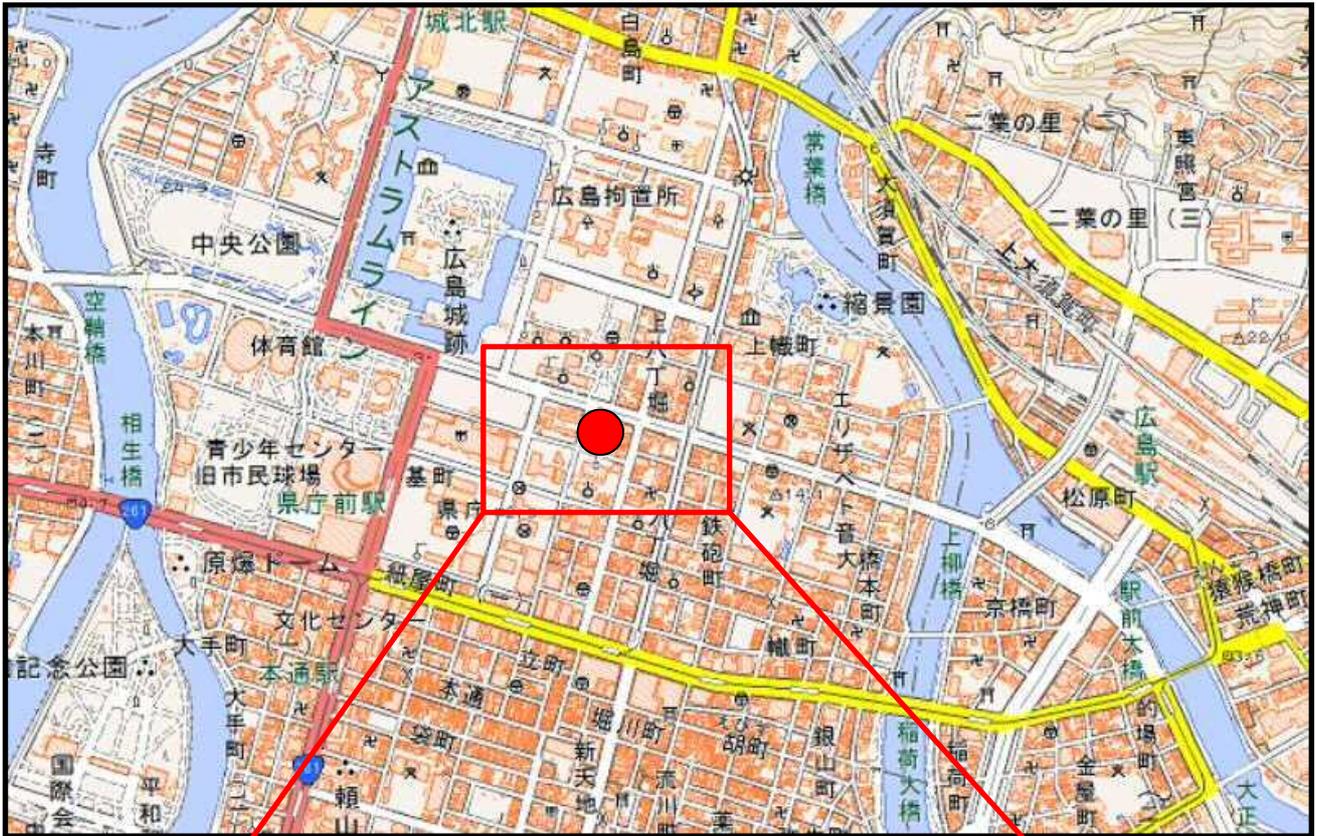
(3) 定期報告書

フォローアップ制度の対象ダム等について、管理開始後原則として5年（大規模な洪水や渇水による被害が発生した場合等はその都度）ごとに過去のフォローアップ調査の結果を分析・評価した定期報告書をフォローアップ委員会の意見を聴いて作成する。

5. 主な経緯等

別表2「中国地方ダム等管理フォローアップ委員会審議経緯」参照。

別図 第30回・第31回 中国地方ダム等管理フォローアップ委員会
会場位置図



中国地方整備局 建政部3階会議室
(広島市中区八丁堀2-15)



【別表 1】

中国地方ダム等管理フォローアップ委員会委員

(敬称略 五十音順)

氏 名	所 属	専門分野等
うちだ たつひこ 内田 龍彦	広島大学大学院 先進理工系科学研究科 准教授	河川工学
うみの てつや 海野 徹也	広島大学大学院 統合生命科学研究科 教授	魚類
せいけ やすし 清家 泰	島根大学 研究・学術情報機構 エスチュアリー研究センター 特任教授	水質
せきね まさひこ 関根 雅彦	山口大学大学院 創成科学研究科 教授	水質
つるさき のぶお 鶴崎 展巨	鳥取大学 農学部 生命環境農学科 教授	動物
なかごし のぶかず 中越 信和	福山大学 グリーンサイエンス研究センター 客員教授	植物
ふくもと ゆきお 福本 幸夫	広島市安佐動物公園 元園長 広島大学 生物生産学部 客員教授 帝京科学大学 生命環境学部 元教授	鳥類
みわ ひろし 三輪 浩	鳥取大学 工学部 教授	河川工学
やまだ ともこ 山田 知子	比治山大学 現代文化学部 教授	社会環境
よしだ けいすけ 吉田 圭介	岡山大学大学院 環境生命科学研究科 准教授	河川工学

【別表2】

中国地方ダム等管理フォローアップ委員会 審議経緯

回数	年月日	審議内容等	定期報告書	事後評価
第1回	平成8年8月8日	・ 設立委員会		
第2回	平成9年10月24日	・ 分析評価項目と方法について ・ 評価結果について ・ 今後の調査について		
第3回	平成11年3月2日	・ 管理の評価結果について ・ 今後の進め方について		
第4回	平成12年2月7日	・ 管理の評価結果について ・ 今後の進め方について		
第5回	平成13年3月22日	・ 管理の評価結果について ・ 今後の進め方について		
第6回	平成14年3月26日	・ 委員会規約の改正について ・ 管理の評価結果について ・ 今後の進め方について		
第7回	平成16年3月24日	・ 委員会規約の改正について ・ 定期報告書の審議について	・ 八田原ダム	
第8回	平成16年12月17日	・ 定期報告書の審議について	・ 弥栄ダム	
第9回	平成17年3月17日	・ 定期報告書の審議について ・ ダム関係事業の事後評価について	・ 土師ダム	・ 土師ダム湖活用環境整備事業
第10回	平成18年1月13日	・ 定期報告書の審議について	・ 高瀬堰	
第11回	平成18年1月31日	・ 定期報告書の審議について ・ ダム関係事業の事後評価について	・ 芦田川河口堰	・ 芦田川河口堰貯水池水質保全事業
第12回	平成19年1月16日	・ 定期報告書の審議について ・ ダム関係事業の事後評価について	・ 島地川ダム	・ 土師ダム貯水池水質保全事業
第13回	平成19年1月30日	・ 定期報告書の審議について ・ ダム関係事業の事後評価について	・ 温井ダム	・ 温井ダム建設事業
第14回	平成20年3月11日	・ 定期報告書の審議について	・ 菅沢ダム ・ 坂根堰	
第15回	平成21年3月19日	・ 定期報告書の審議について	・ 八田原ダム	

回数	年月日	審議内容等	定期報告書	事後評価
第16回	平成22年3月17日	・定期報告書の審議について ・ダム関係事業の事後評価について	・苦田ダム ・土師ダム ・弥栄ダム	・苦田ダム建設事業 ・弥栄ダム湖活用環境整備事業
第17回	平成23年2月15日	・定期報告書の審議について	・芦田川河口堰 ・高瀬堰	
第18回	平成23年10月11日	・定期報告書の審議について ・ダム関係事業の事後評価について	・灰塚ダム	・灰塚ダム建設事業
第19回	平成24年2月7日	・定期報告書の審議について	・温井ダム ・島地川ダム	
第20回	平成25年1月10日	・定期報告書の審議について	・菅沢ダム ・坂根堰	
第21回	平成25年12月26日	・定期報告書の審議について	・八田原ダム	
第22回	平成27年1月22日	・定期報告書の審議について	・土師ダム ・弥栄ダム ・苦田ダム	
第23回	平成27年12月25日	・定期報告書の審議について ・ダム関係事業の事後評価について	・志津見ダム ・芦田川河口堰 ・高瀬堰	・志津見ダム建設事業
第24回	平成28年8月3日	・定期報告書の審議について ・ダム関係事業の事後評価について	・尾原ダム	・尾原ダム建設事業
第25回	平成28年12月1日	・定期報告書の審議について ・ダム関係事業の事後評価について	・殿ダム ・島地川ダム	・殿ダム建設事業
第26回	平成28年12月12日	・定期報告書の審議について	・温井ダム ・灰塚ダム	
第27回	平成29年12月11日	・定期報告書の審議について	・菅沢ダム ・坂根堰	
第28回	平成30年12月21日	・定期報告書の審議について	・八田原ダム ・芦田川河口堰	
第29回	令和元年12月25日	・定期報告書の審議について	・土師ダム ・苦田ダム ・弥栄ダム	
第30回	令和2年12月16日	・定期報告書の審議について	・尾原ダム ・志津見ダム	
第31回	令和2年12月23日	・定期報告書の審議について	・温井ダム ・高瀬堰	